

令和7年度事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 浦和教室

令和7年12月実施

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	1,利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	66.70%	33.30%	教室の広さ的には問題ないが、より安全に広々と使用できるレイアウトを考えてまいります。
	2	2,利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	100.00%	0.00%	適切な配置人数で運営しております。
	3	3,生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100.00%	0.00%	段差をなくし、下に簡易のマットを敷いて転倒時にもクッションとなるよう工夫しております。
	4	4,生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	66.70%	33.30%	建物の老朽化が進んでいるものの、子どもたちが触れる場所は毎日消毒・清掃を行い、清潔を保つことに努めております。
	5	5,必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.00%	0.00%	相談室を開放し、いつでも個室を使用できる環境を整えております。
業務改善	6	6,業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.00%	0.00%	毎日の朝礼・終礼時に課題の確認、振り返りを行い、また月末には次月の目標を設定しております。
	7	7,保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%	0.00%	保護者様向けのアンケートも実施しております。
	8	8,職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%	0.00%	毎週末に定例会議を行い、疑問や改善点について話し合う場面を設けております。
	9	9,第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.00%	0.00%	別事業所勤務の職員を招いたり、凸凹ベース(株)の方への定期報告及び評価を受けるなど定期的な業務見直しをしております。
	10	10,職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.00%	0.00%	区で開催される勉強会への積極的な参加や、社内での月1勉強会など、職員一人ひとりの資質向上に努めております。
	11	11,適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.00%	0.00%	適切に作成、HPにて公表させていただいております。

適切な支援の提供	12	12,個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.00%	0.00%	LINEやHUGを用いて、こちらでのお子さまの様子を共有し、保護者様にはご自宅でのお子さまの様子についてのアンケートにご回答頂き、それを元に放課後等デイサービス計画の作成をおこなっております。
	13	13,放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.00%	0.00%	放課後等デイサービス計画の作成にあたり、ケース会議の時間を設け、意見を出し合うことで多角的な視点で立案できるよう努めております。
	14	14,放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.00%	0.00%	計画作成後、職員間で計画の確認、具体的な支援内容の確認をおこなっております。
	15	15,こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.00%	0.00%	弊社独自のアセスメントツールを用いております。
	16	16,放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.00%	0.00%	必要な項目を適切に設定し、支援に努めております。
	17	17,活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.00%	0.00%	毎月のプログラムを考える際、意見を出し合うことで多角的な視点で立案できるよう努めております。
	18	18,活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.00%	0.00%	同じトレーニングでも少々変化を持たせるなど、固定化や飽きの来ないプログラムの運営を心がけております。
	19	19,こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.00%	0.00%	こどもの発達や年齢に応じて個別活動と小集団活動を組み合わせたトレーニングをおこなっております。
	20	20,支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.00%	0.00%	朝礼時にプログラム内容の共有、必要な支援についての確認をしてから支援にあたっております。

	21	21,支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.00%	0.00%	終礼時にその日のこどもの様子や課題点を共有し合い、次回の支援に努めております。
	22	22,日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.00%	0.00%	HUGシステムを使用し、こどもの様子を記録しております。
	23	23,定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.00%	0.00%	必要に応じて放課後等デイサービス計画の見直し、更新をおこなっております。
	24	24,放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	100.00%	0.00%	4つの基本行動を常に意識した支援を日々おこなっております。
	25	25,こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.00%	0.00%	こどもが自分自身で設定した課題に取り組めるような時間を毎月活動内容に組み込んでおります。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	26	26,障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	66.70%	33.30%	実施時点でサービス担当者会議の開催がありますが、モニタリングなどの対応は精通した職員が参画しております。
	27	27,地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.00%	0.00%	現時点で連携が必要な場面はありませんが、必要に応じて連携をとれる環境は整えております。
	28	28,学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	66.70%	33.30%	保護者の方を通して必要な情報等の交換は適宜おこなっております。職員間でも常に連携を怠らず、安全な送迎業務に努めてまいります。
	29	29,就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	66.70%	33.30%	実施時点で連携が必要なことはありませんでしたが、引き続き何かあった際にはすぐに連携を図れるよう体制を整えてまいります。
	30	30,学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33.30%	66.70%	現在のご利用者様で該当する方がいないため行っておりませんが、今後いらっしゃった際には連携してまいります。

関係団体との連携	31	31,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33.30%	66.70%	勉強会等に参加する中で、ご助言を頂いております。
	32	32,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33.30%	66.70%	児童クラブ・児童館のお子さんとの交流機会はありませんが、公園などにお出かけした際には地域のこどもと交流できるような機会を設けております。
	33	33,(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100.00%	0.00%	地域協議会に参加しております。
	34	34,日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00%	0.00%	日々の HUG での共有はもちろん、お迎えに来ていただいた際には一日のご様子をフィードバックさせて頂いております。また、お迎えにいらっしゃらない保護者様に対してもお電話や LINE 等用いて課題の共通理解を持たせて頂いております。
	35	35,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66.70%	33.30%	現段階ではおこなえておりませんが、今後ペアレントトレーニングの機会を増やしてまいります。
	36	36,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.00%	0.00%	定期的に支援の方針をお伝えさせて頂いております。また、ご利用者負担額においてもわかりやすく丁寧な説明を心がけております。
	37	37,放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00%	0.00%	事前にGoogleフォームを使用して保護者アンケートを実施し、それに基づいて計画の立案をおこなっております。
	38	38,「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.00%	0.00%	更新の際には保護者面談を実施し、計画の説明・同意を得ております。
	39	39,家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00%	0.00%	LINEを用いて保護者と連絡をとり、必要に応じて面談等の相談支援もおこなっております。

保護者への説明責任等	40	40,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	33.30%	66.70%	現段階ではおこなえておりませんが、今後は必要に応じて保護者会や兄弟同士の交流がもてる機会を設けてまいります。
	41	41,こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.00%	0.00%	相談や申し入れがあった際には、迅速に対応させていただきます。
	42	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.00%	0.00%	HUGやLINEを使用して活動やイベント内容の周知をおこなっております。また、リタリコ発達ナビを使用してブログの運営もおこなっております。
	43	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00%	0.00%	個人情報の記載されたファイルなどは鍵付きのキャビネットの中に保管しております。また、日タトレニングでお子様がお名前を書いたプリントもお持ち帰りにならない際はすべてシュレッダーにかけ情報の扱いには十分注意を払っております。
	44	44,障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.00%	0.00%	お子様が伝えたくともうまく言語化できない際には、表情や状況などから気持ちの読み取りを行い、代弁しながら選択肢を選んでもらうことで「伝えられた」という成功体験が持てるようにしております。 保護者様との意思疎通におきましては対面、電話、HUG,LINEなどニーズに応えた様々な連絡体制をとっております。
	45	45,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.00%	100.00%	感染症が落ち着いてきたこともあり、今後は地域の皆様との関わりの機会も考え、運営してまいります。
	46	46,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.00%	0.00%	各種マニュアル及び対策委員会を設けております。職員間でも3か月に一度は必ず振り返りを行い、様々なトラブルが起きた際にも臨機応変に対応できるよう努めております。
	47	47,事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.00%	0.00%	契約時や面談時に必ず確認し、いつでも職員間で情報共有できるようHUG等にも記載をおこなっております。

非常時等の 対応	48	48,食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.00%	0.00%	事前にお伝え頂いたアレルギーに関しては調理イベントの際にも使用しないよう、配慮しております。今までございませんが、アレルギー反応が出た際には迅速に対応してまいります。
	49	49,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	50.00%	50.00%	ヒヤリハットが起きた際には職員全体に周知し、再発防止に向けての話し合いの場を設けております。
	50	50,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%	0.00%	虐待対策委員会を設けております。職員間でも3か月に一度は必ず振り返りを行い、様々なトラブルが起きた際にも臨機応変に対応できるよう努めております。
	51	51,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	50.00%	50.00%	お子様自身も他のお子様にも被害がおよびそうな際などはやむを得ず身体拘束を行わせて頂く旨をご契約時にお話させて頂いており、放課後等デイサービス計画にも記載させて頂いております。